

タイムコントロール新方式の前倒し実施について

今年の世界選手権大会より、タイムコントロールの方式が変更となりました。委員会としては国内の大会でも、速やかに新方式を導入して、世界の動向に合わせていきたいと考えています。本来であれば競技規則の改正を行うところですが、それにはどうしても時間がかかります。つきましては本通知によって、国内大会における、新方式でのタイムコントロールの前倒しの実施を承認いたします。大きな変更としては、タイムコントロールでの正解数が得点に加えられなくなったこと、一カ所のタイムコントロールで複数の課題に回答することが標準になったことです。以下に変更点をあげます。言及がない点については、現行の競技規則に従ってください。

地図

- 通常の競技(以下「プリO」と称す)およびテンポのタイムコントロールにおける地図の形状は、円形もしくは正方形とする。円形の場合は直径が5cm~12cm、正方形の場合は一辺が5cm~12cmとする。いずれの場合でも、コントロール円は地図の中心に位置させる。全てのタイムコントロールで使用する地図は、同一形状、同一サイズでなければならない。地図は地図サイズより大きいしっかりした材質のものに固定させる。地図には、ディビジョンポイントから見たフラッグサイトと同一のエリアが含まれていなければならない。タイムコントロール用の地図には、各地図の上部に磁北表示が、下部にはコントロール位置説明が表記される。
- 1か所で複数の課題を解くタイムコントロール用の地図には表紙を付ける。競技者には2種類の地図セットを提供するのが望ましい。ひとつは綴られたもの、もうひとつは綴られていないもので、この場合、競技者はどちらの地図を使用するかを各タイムコントロールで選択する。

コントロールの設置とディビジョンポイント

- コントロールにおけるコントロールフラッグの数は、1個から5個までとする。ただし、タイムコントロールにおけるフラッグの数は、5個または6個とする。
- コントロールフラッグは、ディビジョンポイントから見えるとおりに、遠近に関係なく、向かって左から右にA、B、C、D、E、Fと指定される。

タイムコントロール

- コースにおいて、コントロールフラッグ群を確認し回答するまでに要する時間を計測する、特別に設けられたコントロールをタイムコントロールといい、「TC」と略す。
- プリOのコースには、1か所あるいはそれ以上の数のタイムコントロールを設定する。各タイムコントロールでは複数の課題を設定することを原則とする。ただし、BおよびNクラスにはタイムコントロールを設けなくてもよい。
- テンポのコースには、少なくとも4か所のタイムコントロールを設ける。各タイムコントロールでは、少なくとも3問の課題を設定する。
- タイムコントロールの数並びに各タイムコントロールにおける課題数は、プログラム・公式掲示板・現地での表示・口頭等により、競技者に周知する。
- タイムコントロールで使用する範囲については、競技者用の地図にその地形や特徴物などの情報を表記してはならない。
- タイムコントロールでは、競技者は役員の指示に従ってディビジョンポイントに誘導され、その場に着席し、全てのコ

ントロールフラッグが視認できる事を確認する。1か所で複数課題を解く場合、役員からタイムコントロール用の整置された地図セットが、手渡されるか、競技者の前に置かれる。2種類の地図セット(綴られたもの、綴られていないもの)が提供された場合、競技者はどちらの地図を使用するかを選択する。開始の合図(国際標準例:「タイム・スタート・ナウ(Time Starts Now)」)で計時が開始され、競技者は表紙をめくって1枚目の地図を見ることができる。1枚の地図のみの課題の場合は、計時開始の合図と同時に地図を手渡される。

- 競技者は、当該課題の地図を見ている間に回答しなくてはならない。回答前に次の地図を見たり、前問の地図を見返したりした場合は、その地図における回答は不正解として扱われる。
- 競技者がそのタイムコントロールでの最終課題を明確に回答した時点で、役員は計時を終了する。回答はアルファベットを表示した板を正しく指で示すか、または口頭で(国際標準例:国際音声アルファベット表音法(Alpha アルファ、Bravo ブラヴォ、Charlie チャーリー、Delta デルタ、Echo エコー、Foxtrot フォックス・トロット、Zero ゼロ))行いが、主催者が認めた回答のための電氣的機器を使用してもよい。
- タイムコントロールの制限時間は、課題数×30秒とする。1課題のみの場合は、60秒としてもよい。1カ所で2課題までの場合は制限時間10秒前に、3課題以上の場合は制限時間20秒前に役員が警告を行う。
- 競技者の各課題の回答とともに、合計所要時間の秒未満の端数は、これを切り捨てて記録される。
- 制限時間内に回答がなかった課題については、不正解として扱われる。
- ストップウォッチを使用する場合は、2名の役員により計時が行われなければならない。
- プリOのタイムコントロールでは、いわゆる「正解なし(Z)」を正答とする課題を設定してはならない。テンポでは「正解なし」を正答とする課題を設定することができる。

#### 順位、成績および表彰

- プリOのタイムコントロールを除く各コントロールにおいて、正答の場合は競技者に1点の得点が与えられる。
- プリOのタイムコントロールにおいては得点が与えられず、制限時間内の正答の場合は、その回答所要時間が記録される。不正解の場合は、回答所要時間にペナルティとして不正解1問について60秒が加算される。制限時間内に回答がなかった場合は、制限時間にペナルティとして無回答1問について60秒を加算した時間が記録される。
- タイムコントロールの回答所要時間は、1カ所につき2名の役員により計時された結果の平均を、0.5秒まで有効として算出する。電子機器を使用している場合は、秒未満の端数を切り捨てて記録する。
- 1レースにつき複数のタイムコントロールが設置される場合は、全てのタイムコントロールにおける回答所要時間を合計して記録する。ストップウォッチによる計時の場合は、0.5秒まで有効な値として記録される。これは複数レース競技においても適用される。
- プリOにおいて、競技者は得点の合計によって順位がつけられる。同点の場合には、タイムコントロールにおける回答の所要時間により順位がつけられる。得点が多く、回答の所要時間の短い競技者が上位となる。
- テンポにおいて、競技者は各タイムコントロールでの回答所要時間の総合計に、間違った各回答につき30秒のペナルティを加えた成績により順位がつけられる。

以上です。大会主催者の判断により従来の形式で行うことも可能ですが、委員会としては新方式での開催を奨励いたします。いずれの場合も、プログラム等で参加者に競技方法を周知し、混乱のないようにお願いします。特に新方式で開催の場合には、説明用のタイムコントロールを設ける等の配慮をお願いします。